

# 2019年8月期決算説明会資料



# 目次

2019年8月期決算概況（連結）	……………	2
2019年8月期決算概況（セグメント）	……………	6
業績見通し（連結）	……………	10
中期経営計画（2019年8月期～2021年8月期）の概要	……………	11
M&Aの推進	……………	12
配当方針	……………	15
補足資料	……………	16

# 2019年8月期決算概況（連結）

(単位：百万円)

	2018.08期	2019.08期					
		計画	実績	前年同期比		計画比	
売上高	8,523	11,600	13,473	+ 4,950	+58.1%	+ 1,873	+16.1%
売上総利益 (売上総利益率)	2,205 (25.9%)	2,792 (24.1%)	3,385 (25.1%)	+ 1,180	+53.5%	+ 593	+21.3%
営業利益 (営業利益率)	1,082 (12.7%)	1,308 (11.3%)	1,954 (14.5%)	+ 872	+80.6%	+ 646	+49.4%
経常利益	1,103	1,302	1,976	+ 872	+79.1%	+ 674	+51.8%
当期純利益	824	865	1,309	+ 484	+58.8%	+ 444	+51.4%

# 2019年8月期決算概況（連結）

売上高は13,473百万円（前年同期比58.1%増、当初計画比16.1%増）

●金属加工事業において、太陽電池アレイ支持架台の大型案件が好調に推移したことや前連結会計年度にM & Aにより子会社化した株式会社ダイリツの業績が通期にわたって寄与したこと、建設事業において、既存案件の追加工事を複数受注したことなどから、売上高は13,473百万円。

受注残高は3,395百万円（前年同期比47.6%減）

●金属加工事業は2,508百万円（前年同期比49.2%減）、ゴム加工事業は83百万円（同0.4%増）、建設事業は803百万円（前年同期比45.1%減）となり、合計3,395百万円で前年同期比47.6%の減少。

営業利益は1,954百万円（前年同期比80.6%増、当初計画比49.4%増）

●売上高が好調に推移したことに伴い、営業利益は1,954百万円（前年同期比1.8 P 増の営業利益率14.5%）。

当期純利益は1,309百万円（前年同期比58.8%増、当初計画比51.4%増）

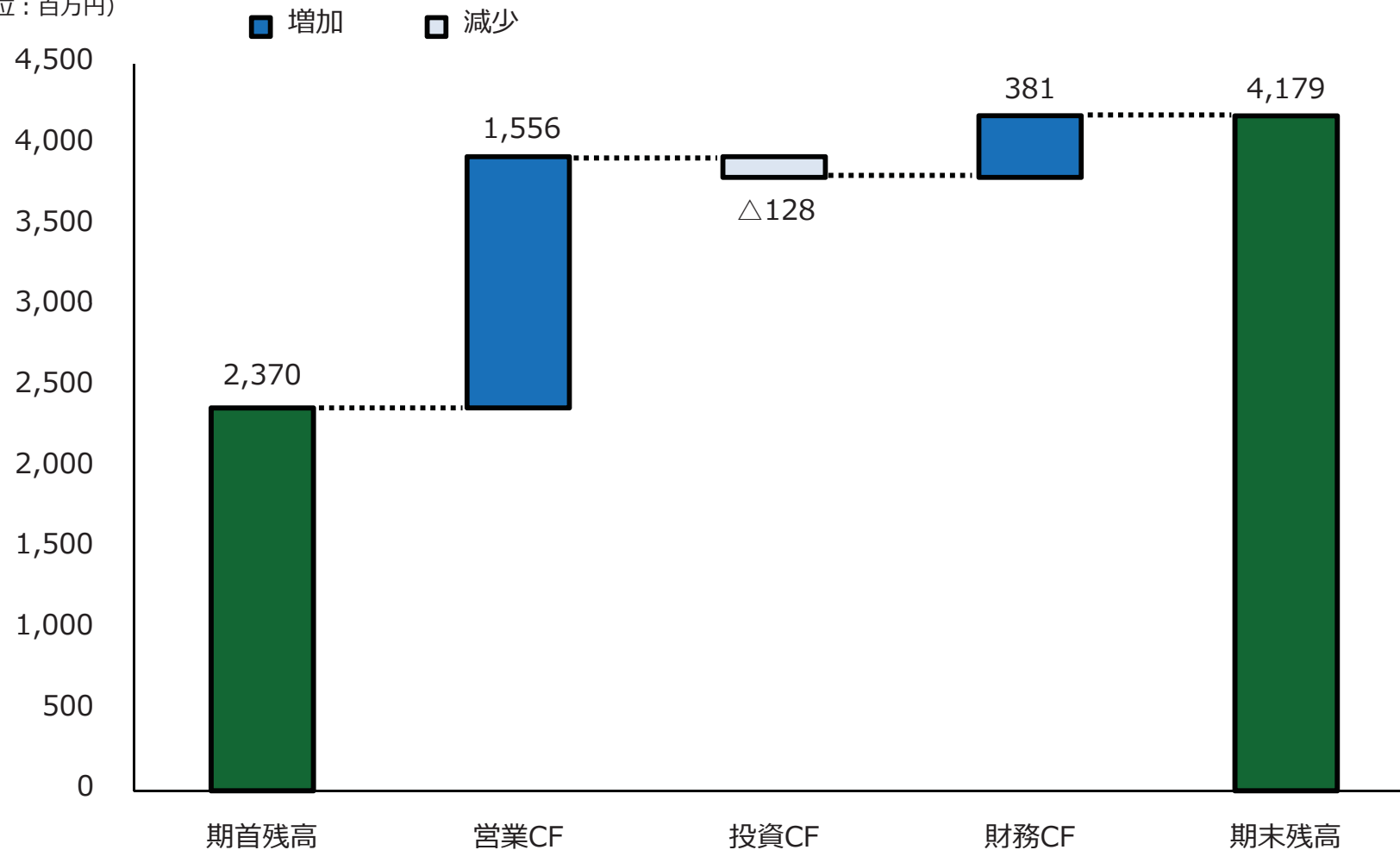
# 2019年8月期決算概況（連結）

(単位：百万円)

	2018.08期	2019.08期	増減	主な要因
流動資産	9,012	11,028	+ 2,015	現金及び預金1,605M、受取手形及び売掛金886M、完成工事未収入金232M、未成工事支出金130M、電子記録債権△698M
固定資産	3,435	3,426	△ 8	
資産合計	12,447	14,454	+ 2,006	
流動負債	3,130	4,032	+ 901	支払手形及び買掛金△207M、短期借入金775M、未払法人税等193M
固定負債	1,387	1,352	△ 35	
負債合計	4,518	5,384	+ 866	
純資産合計	7,929	9,070	+ 1,140	利益剰余金1,116M
新株予約権	0	30	+ 30	
自己資本合計	7,929	9,039	+ 1,109	
負債純資産合計	12,447	14,454	+ 2,006	
自己資本比率	63.7%	62.5%	△1.2P	

# 2019年8月期決算概況（連結）

(単位：百万円)



## ■ 営業キャッシュフロー1,556

税金等調整前当期純利益1,966  
減価償却費397  
売上債権の増加△421  
仕入債務の減少△166  
法人税等の支払額△454

## ■ 投資キャッシュフロー△128

定期預金の純減204  
有形固定資産の取得による支出△305

## ■ 財務キャッシュフロー381

短期借入金の純増775  
長期借入れによる収入192  
長期借入金の返済による支出△331  
配当金の支払額△192

# 2019年8月期決算概況（セグメント）

（単位：百万円）

	2018.08期	2019.08期	前年同期比	
売上高	8,523	13,473	+ 4,950	+58.1%
金属加工事業	6,151	10,026	+ 3,874	+63.0%
ゴム加工事業	1,217	1,196	△ 21	△1.7%
建設事業	1,153	2,250	+ 1,096	+95.1%
セグメント利益	1,415	2,373	+ 957	+67.6%
金属加工事業	1,058	1,900	+ 841	+79.5%
ゴム加工事業	178	180	+ 1	+1.0%
建設事業	178	292	+ 114	+64.1%
調整額	△ 333	△ 418	△ 85	—
営業利益	1,082	1,954	+ 872	+80.6%

（注）調整額（セグメント利益の合計額と営業利益との差異）は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用

# 2019年8月期決算概況（セグメント）

## 金属加工事業 売上高10,026百万円（前年同期比63.0%増）

●太陽電池アレイ支持架台の大型案件が好調に推移したことや新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組んだことに加え、前連結会計年度にM & Aにより子会社化した株式会社ダイリツの業績が通期にわたって寄与したことにより、売上高は10,026百万円（前年同期比63.0%増）、セグメント利益は1,900百万円（同79.5%増）、当連結会計年度末における受注残高は2,508百万円（同49.2%減）。

## ゴム加工事業 売上高1,196百万円（前年同期比1.7%減）

●新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組み、建設関連、土木関連、工業関連、自動車関連等の各種業界向けの製品が堅調に推移し、売上高は1,196百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益は180百万円（同1.0%増）、当連結会計年度末における受注残高は83百万円（同0.4%増）。

## 建設事業 売上高2,250百万円（前年同期比95.1%増）

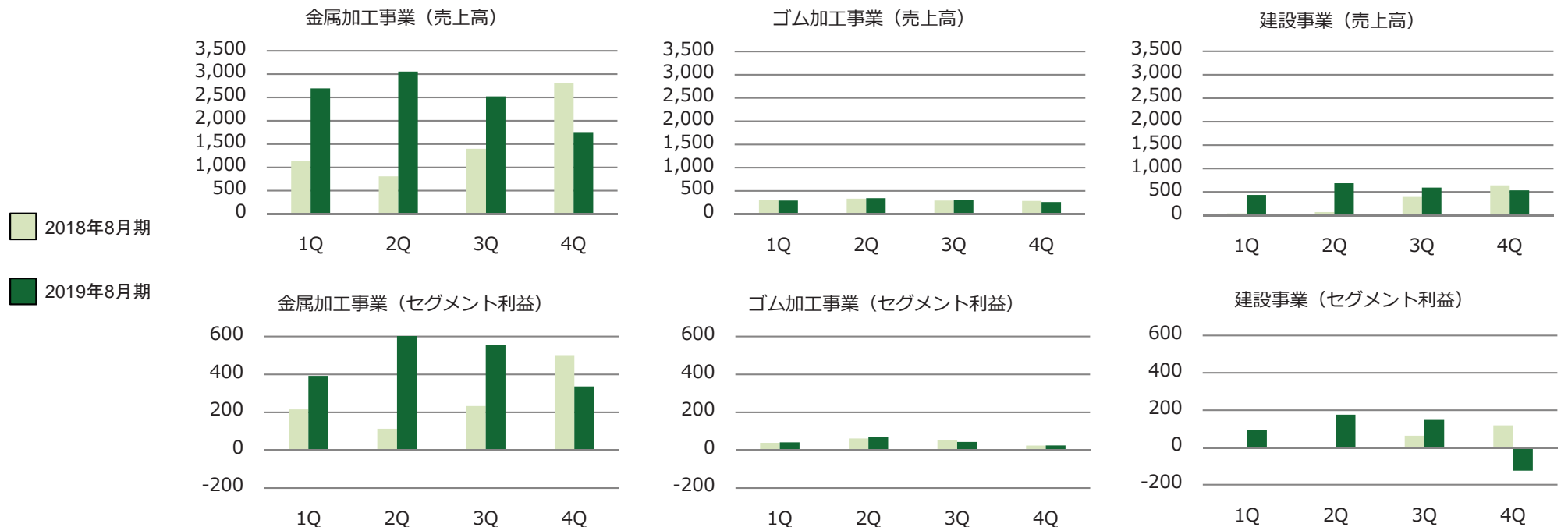
●グループ間の情報連携を図り、材工一括受注を掲げ営業活動に取り組んだことや既存案件の追加工事を複数受注した結果、売上高は2,250百万円（前年同期比95.1%増）、セグメント利益は292百万円（同64.1%増）、当連結会計年度末における受注残高は803百万円（同45.1%減）。



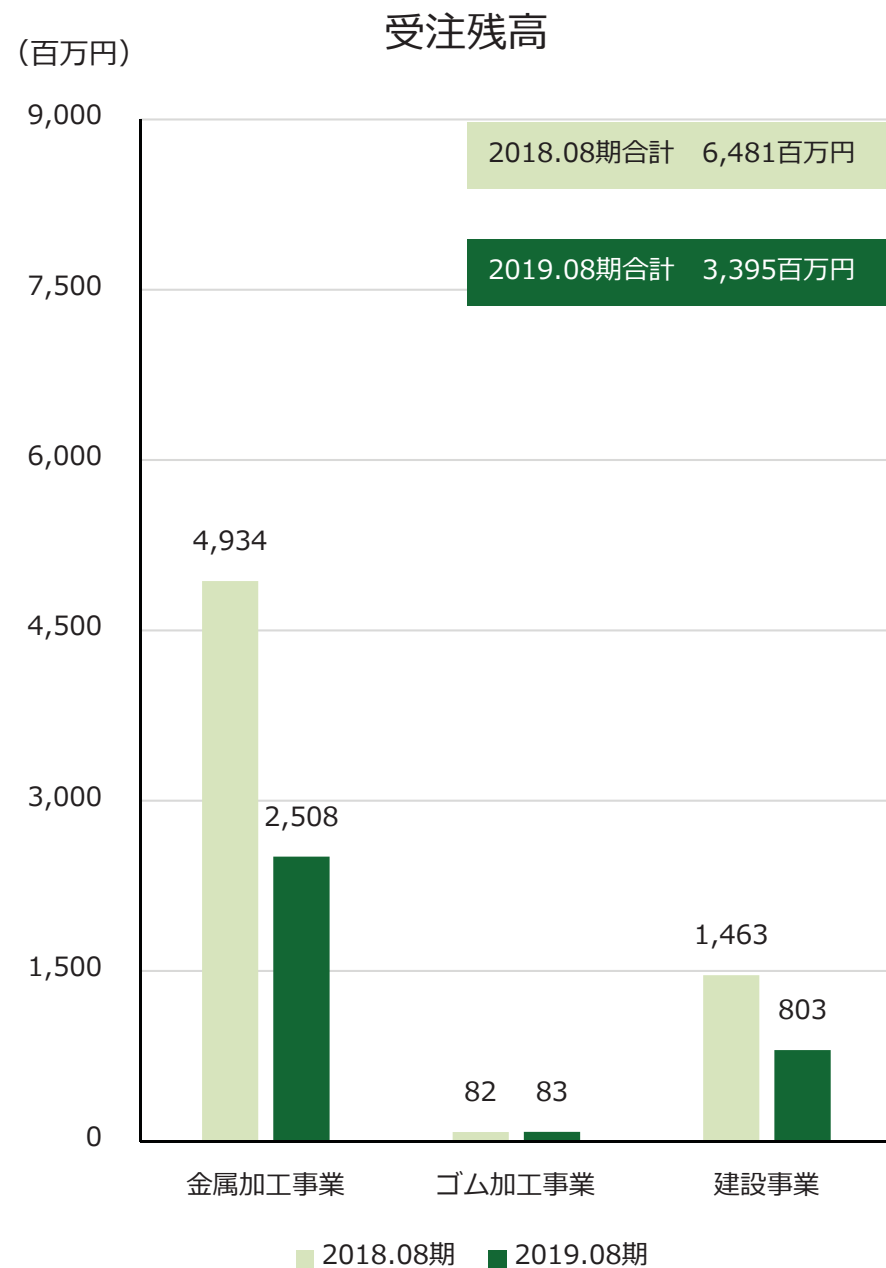
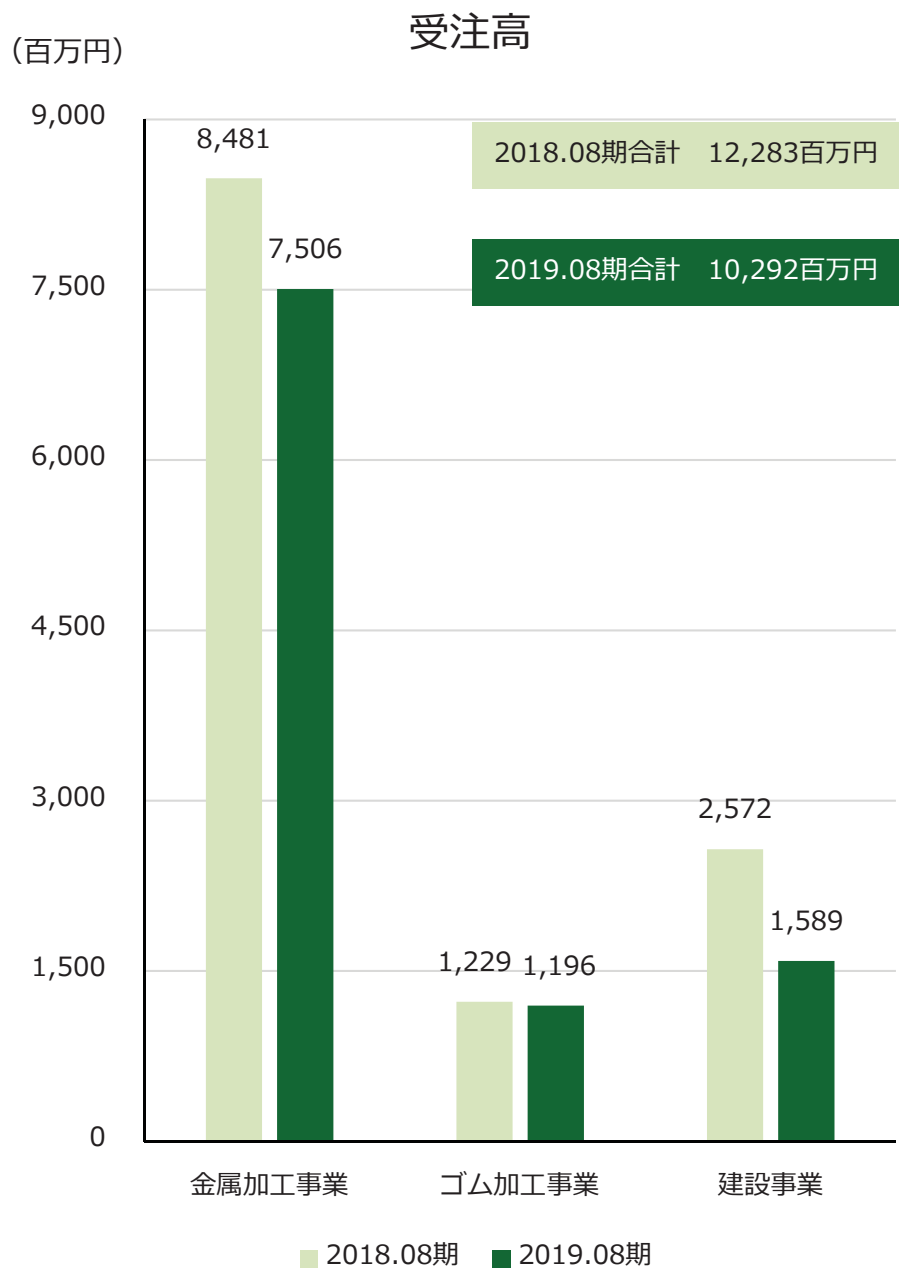
# 2019年8月期決算概況 (セグメント)

(単位：百万円)

	1Q		2Q		3Q		4Q		通期	
	2018.08期	2019.08期	2018.08期	2019.08期	2018.08期	2019.08期	2018.08期	2019.08期	2018.08期	2019.08期
売上高	1,496	3,420	1,214	4,084	2,084	3,415	3,727	2,552	8,523	13,473
金属加工事業	1,143	2,693	808	3,054	1,398	2,522	2,801	1,756	6,151	10,026
ゴム加工事業	308	291	332	344	292	301	283	259	1,217	1,196
建設事業	44	435	73	685	394	592	642	536	1,153	2,250
セグメント利益	251	526	174	860	350	748	639	237	1,415	2,373
金属加工事業	215	392	113	613	232	557	497	336	1,058	1,900
ゴム加工事業	38	41	61	70	54	43	24	24	178	180
建設事業	△ 2	92	0	175	62	147	118	△ 123	178	292
調整額	△ 70	△ 97	△ 70	△ 80	△ 100	△ 87	△ 92	△ 153	△ 333	△ 418
営業利益	181	429	104	780	249	660	547	84	1,082	1,954



# 2019年8月期決算概況 (セグメント)



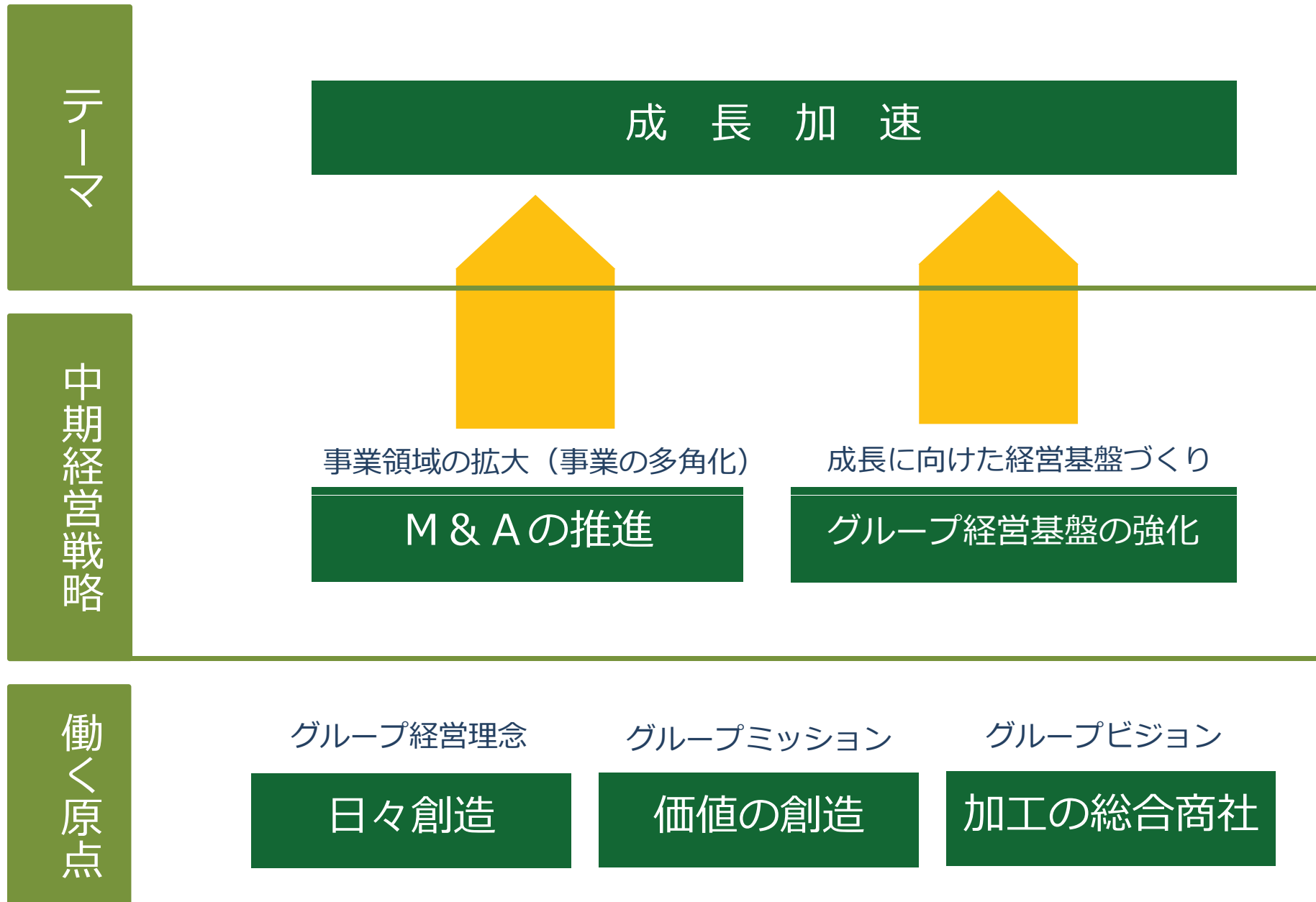
# 業績見通し（連結）

- (1) ゴム加工事業及び建設事業においては堅調に推移すると見込んでいるが、金属加工事業においては、太陽電池アレイ支持架台の大型案件の引き合いは一定数あるものの、当連結会計年度（2019年8月期）に比べ受注案件は一時的に減少すると見込んでおり、売上高は11,000百万円（前年同期比18.4%減）。
- (2) 原価低減を推進し、売上総利益率は25.6%（前年同期比0.5P増）に改善。
- (3) 営業利益は、売上高の減少に伴い、1,440百万円（同26.3%減）、営業利益率は13.1%（前年同期比1.4P減）。
- (3) 当期純利益980百万円（前年同期比25.2%減）。
- (4) 引き続きM&A戦略を積極的に推進する（M&Aの数値は、計画に含めていない）。

（単位：百万円）

	2019.08期	2020.08期		
		計画	前年同期比	
売上高	13,473	11,000	△ 2,473	△18.4%
金属加工事業	10,026	7,489	△ 2,536	△25.3%
ゴム加工事業	1,196	1,310	+ 113	+9.5%
建設事業	2,250	2,200	△ 50	△2.2%
売上総利益	3,385	2,814	△ 571	△16.9%
（売上総利益率）	(25.1%)	(25.6%)	—	(+0.5P)
営業利益	1,954	1,440	△ 514	△26.3%
（営業利益率）	(14.5%)	(13.1%)	—	(△1.4P)
経常利益	1,976	1,450	△ 526	△26.6%
当期純利益	1,309	980	△ 329	△25.2%

# 中期経営計画（2019年8月期～2021年8月期）の概要



# M & Aの推進

## M&Aの推進

(1) M & A・アライアンスによる事業領域の拡大（事業の多角化）

(2) 3年間で上限50億円のM & A・アライアンスに係る戦略投資枠の再設定

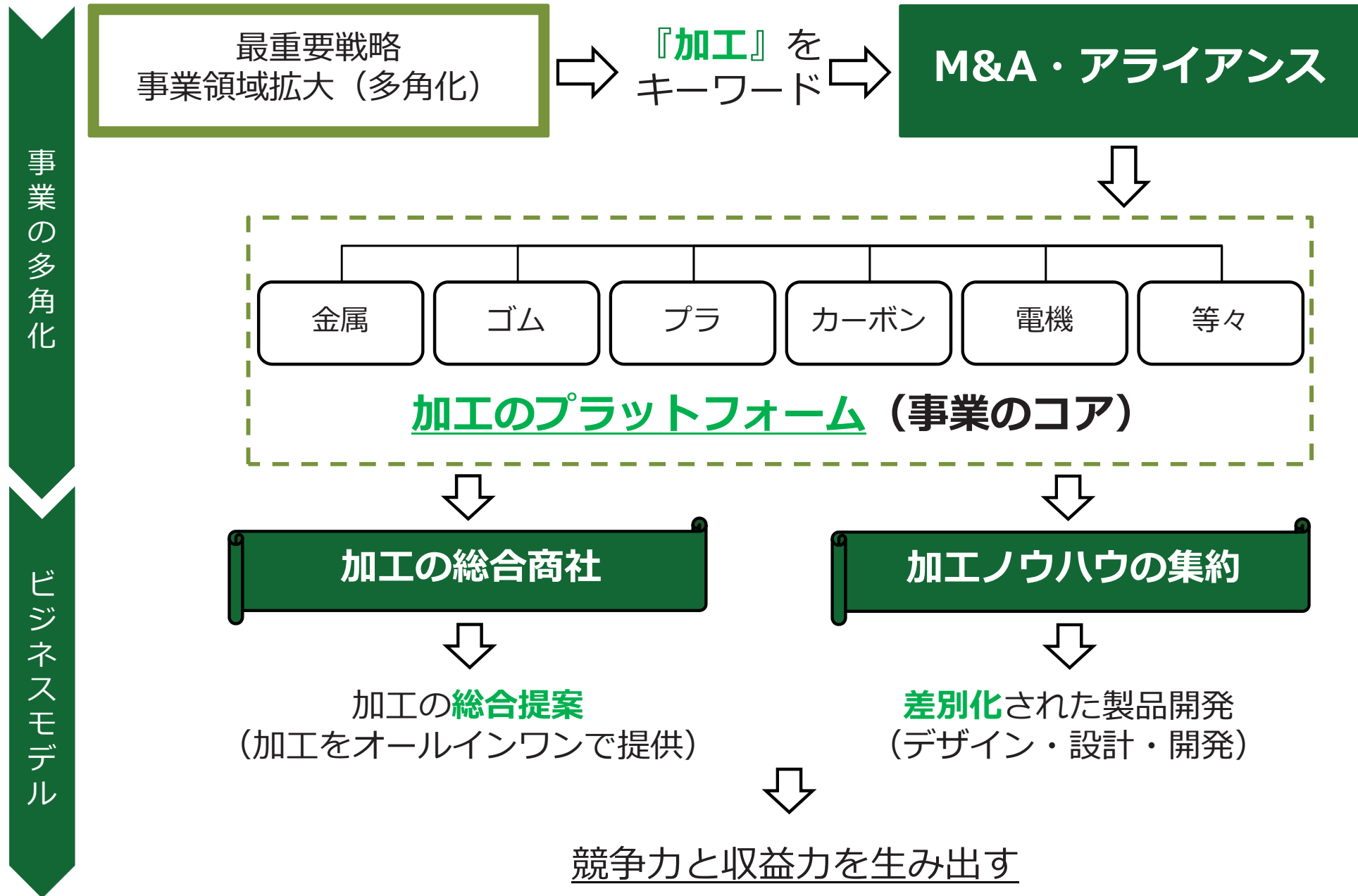
### (1) M & A・アライアンスによる事業領域の拡大（事業の多角化）

- 「加工」をキーワードに、素材を問わず加工技術・ノウハウを集め、モノづくり、周辺事業へと積極的に事業領域を拡大し、「加工のプラットフォーム」を創出
  - ※前中計初年度実績：吾孺ゴム工業株式会社（ゴム加工事業）を子会社化
  - ※前中計2年目実績：綾目精機株式会社（金属加工事業）を子会社化
  - ※前中計3年目実績：株式会社ダイリツ（金属加工事業）を子会社化

### (2) 3年間で上限50億円のM & A・アライアンスに係る戦略投資枠の再設定

- 経営の機動性を高めるため、3年間（2019年8月期～2021年8月期）で上限50億円の戦略投資枠を再設定し、成長を加速。
- 前中計で設定した戦略投資枠をリセットし、同額で再設定
  - ※前中計初年度実績：吾孺ゴム工業株式会社（投資額900百万円）
  - ※前中計2年目実績：綾目精機株式会社（投資額480百万円）
  - ※前中計3年目実績：株式会社ダイリツ（投資額51百万円）

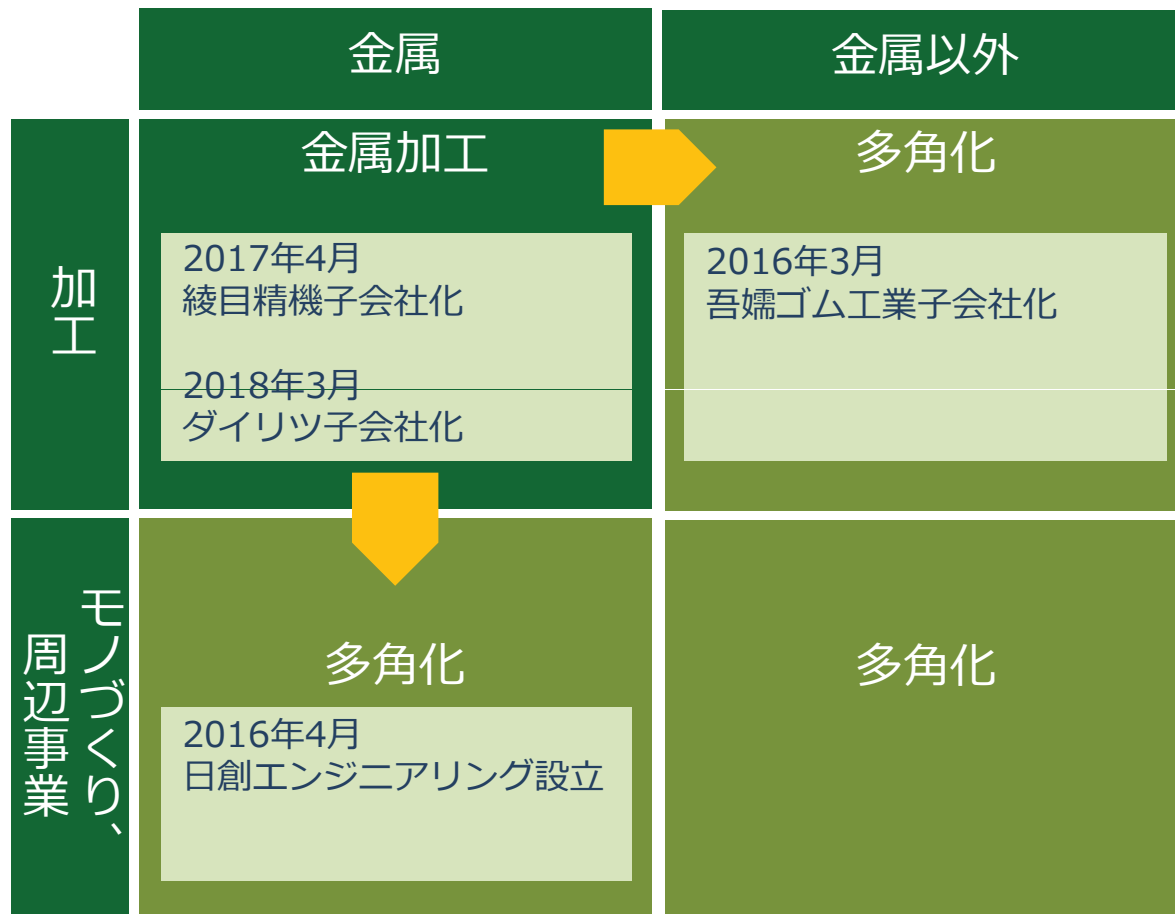
# M & Aの推進方針



# M & Aの推進方針

## 推進方針

- (1) 金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大（事業を多角化）
- (2) 連携体制を強化し、業績向上とグループ管理体制を構築



## 情報入手先

銀行・証券会社・専業会社等から、M&A情報を入手

## 検討

シナジー、投資リスク、投資採算、条件等を社内プロジェクトチームにて検討

## クロージング

基本合意・デューディリジェンス・機関決定・適時開示・最終合意を経てクロージング

## P M I

連携体制を強化し、業績向上とグループ管理体制を構築

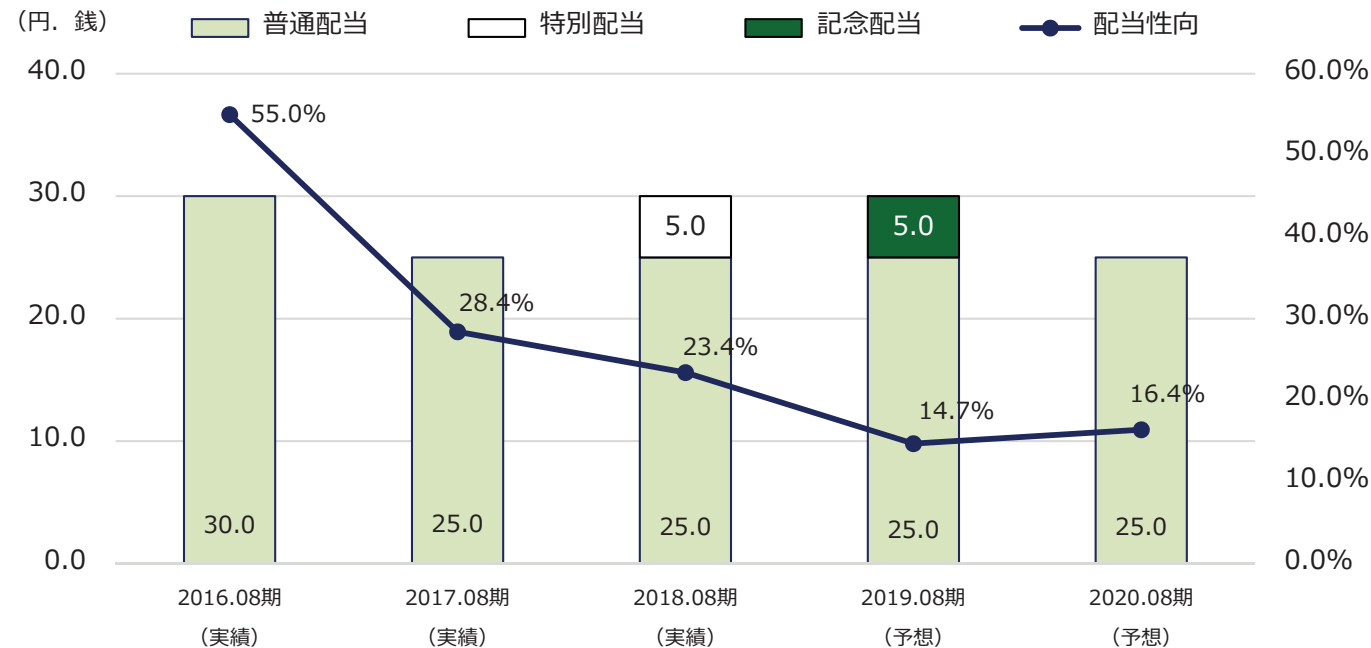
# 配当方針

## 配当に関する基本的な考え方

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

(円. 銭)

	2016.08期 (実績)	2017.08期 (実績)	2018.08期 (実績)	2019.08期 (予想)	2020.08期 (予想)
特別配当	-	-	5.0	-	-
記念配当	-	-	-	5.0	-
普通配当	30.0	25.0	25.0	25.0	25.0
計	30.0	25.0	30.0	30.0	25.0
配当性向	55.0%	28.4%	23.4%	14.7%	16.4%





# 2019年8月期決算説明会補足資料

# 会社概要

2019年8月31日現在

- 商 号 : 日創プロニティ株式会社 (英文表記 : NISSO PRONITY Co., Ltd.)
- 本 社 : 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野1-15-29
- 事 業 内 容 : 金属加工事業、ゴム加工事業、建設事業
- 営 業 拠 点 : 本社、東京営業所、福島営業所
- 製 造 拠 点 : 山田工場 (福岡県嘉麻市)、福島工場 (福島県石川郡)
- 関 連 会 社 : 吾孀ゴム工業株式会社 (群馬県)、日創エンジニアリング株式会社 (東京都)  
綾目精機株式会社 (広島県)、株式会社ダイリツ (愛知県)
- 代 表 者 : 代表取締役社長 石田 徹
- 設 立 : 1983年9月
- 資 本 金 : 1,176百万円
- 市 場 区 分 : 東京証券取引所市場第二部、福岡証券取引所 証券コード : 3440
- 発行済株式数 : 7,360,000株
- 決 算 日 : 8月31日



ISO9001

## グループ経営理念

### 日々創造

当社の創業の精神であり社名の由来でもある「日々創造」は、日創グループに所属する私たちの精神的支柱であり、また日々の業務の現実的な指針です。私たちは、短期的な課題に対しても、長期的な課題に対しても、「日々創造」する企業集団であり続けます。

創業の精神



「日々創造」  
グループ経営理念



日々の業務  
の現実的な  
指針

あらゆる課題に



チャレンジ

「日々創造」する企業集団

## 「日々創造」

グループ経営理念のもと

### グループミッション

#### 価値の創造

##### (社会貢献)

私たちは、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大し（事業の多角化）、**新たな価値を創造**していくことを通じて、社会に貢献してまいります。

### グループビジョン

#### 加工の総合商社

##### (挑戦)

「加工の総合商社」が私たちの進むべき方向であり、常に追い求める企業グループ像です。私たちは、グループビジョンに向かって、**エンドレスに挑戦**を続けます。

# 沿革

2019.07月 東証二部 上場

2018.03月 ダイリツを子会社化

2017.04月 綾目精機を子会社化

2016.04月 日創エンジニアリング設立

2016.03月 吾孺ゴム工業を子会社化

2014.06月 福島営業所開設

2014.03月 福島工場新設 (東日本の製造拠点)

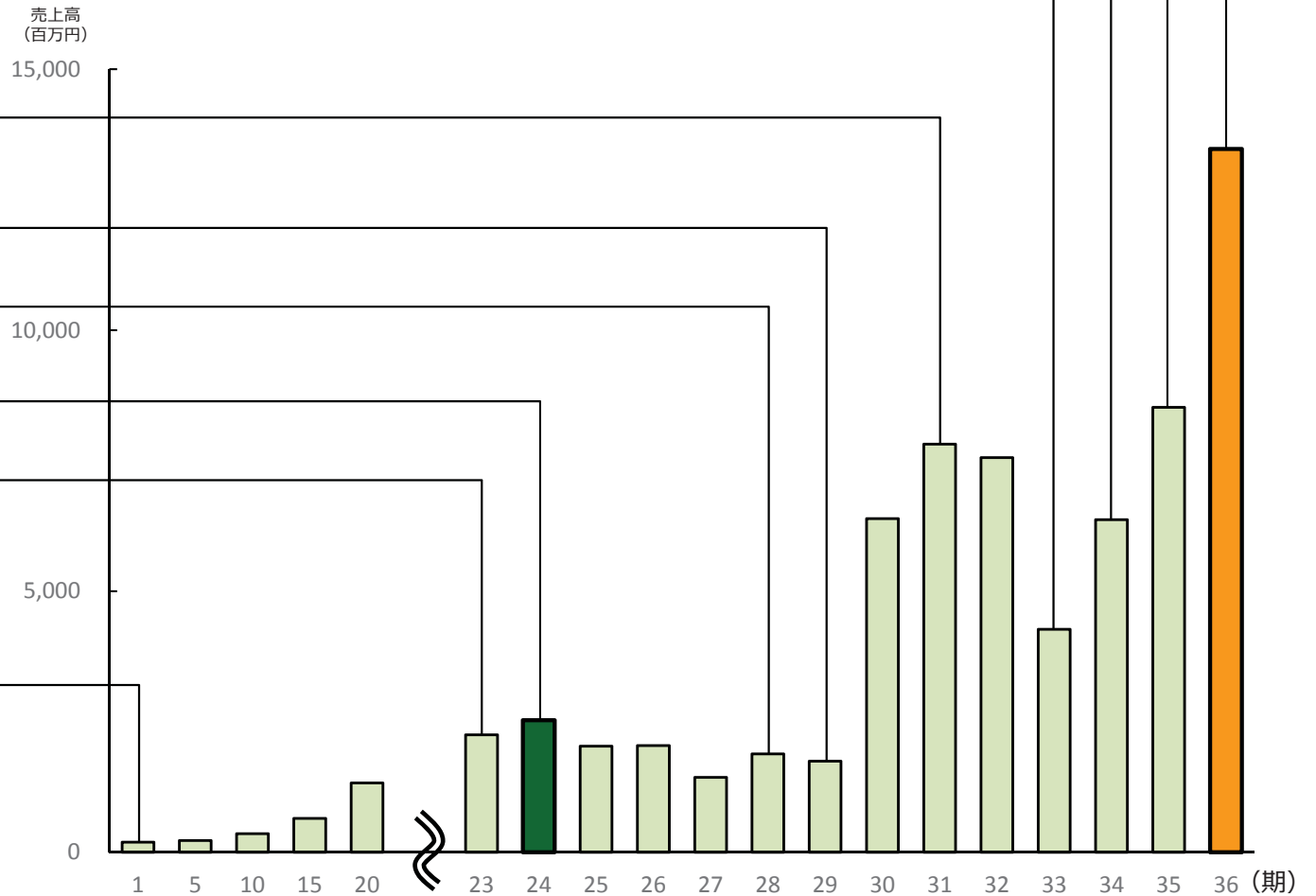
2012.07月 FITスタート  
(再生エネルギー固定買取制度)

2011.02月 東京営業所開設  
(全国展開スタート)

2007.08月 福岡Q-Board 上場

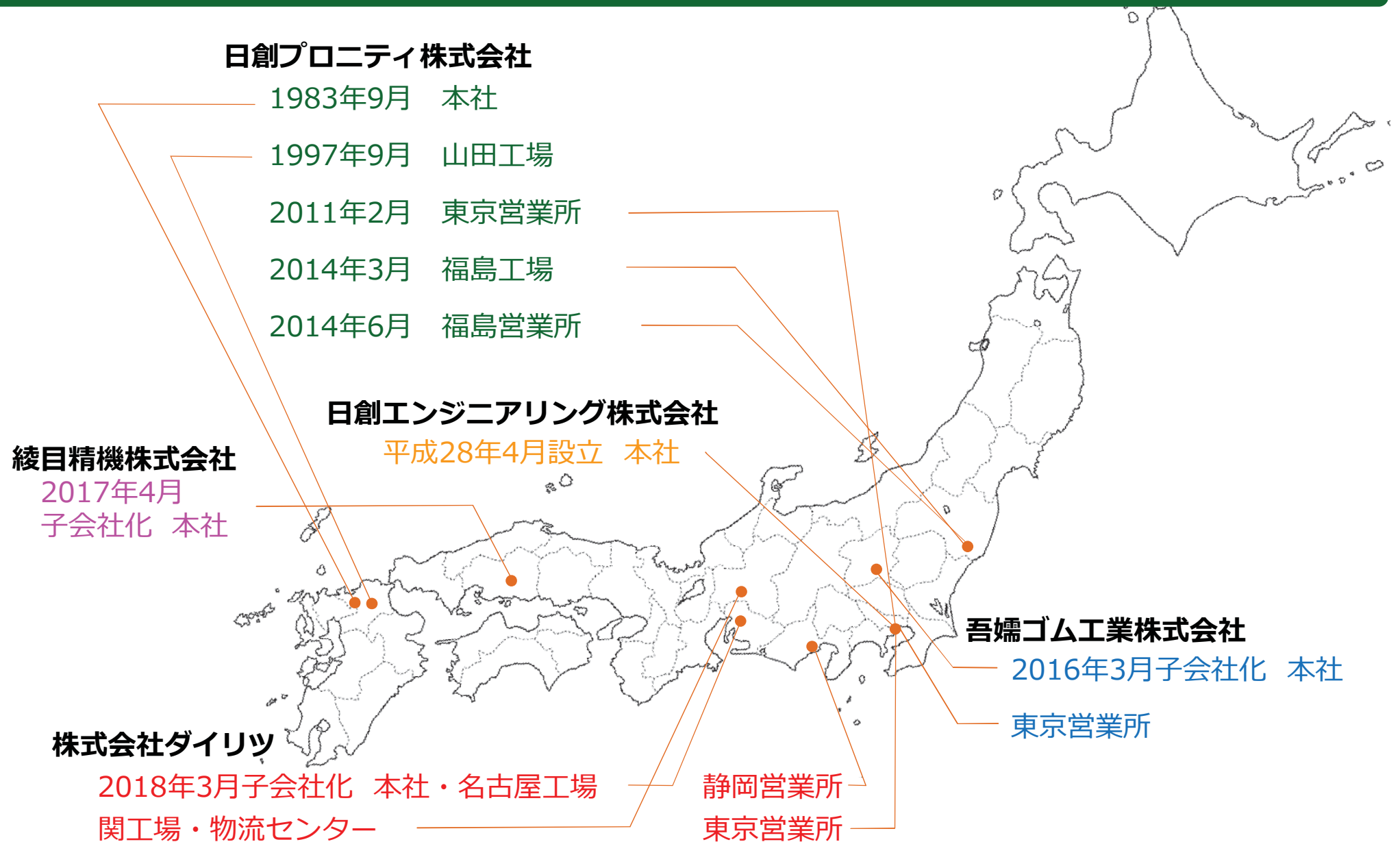
2007.03月までに山田工場を第5工場まで  
増設 (西日本の製造拠点)

1983.09月 設立・山田工場新設

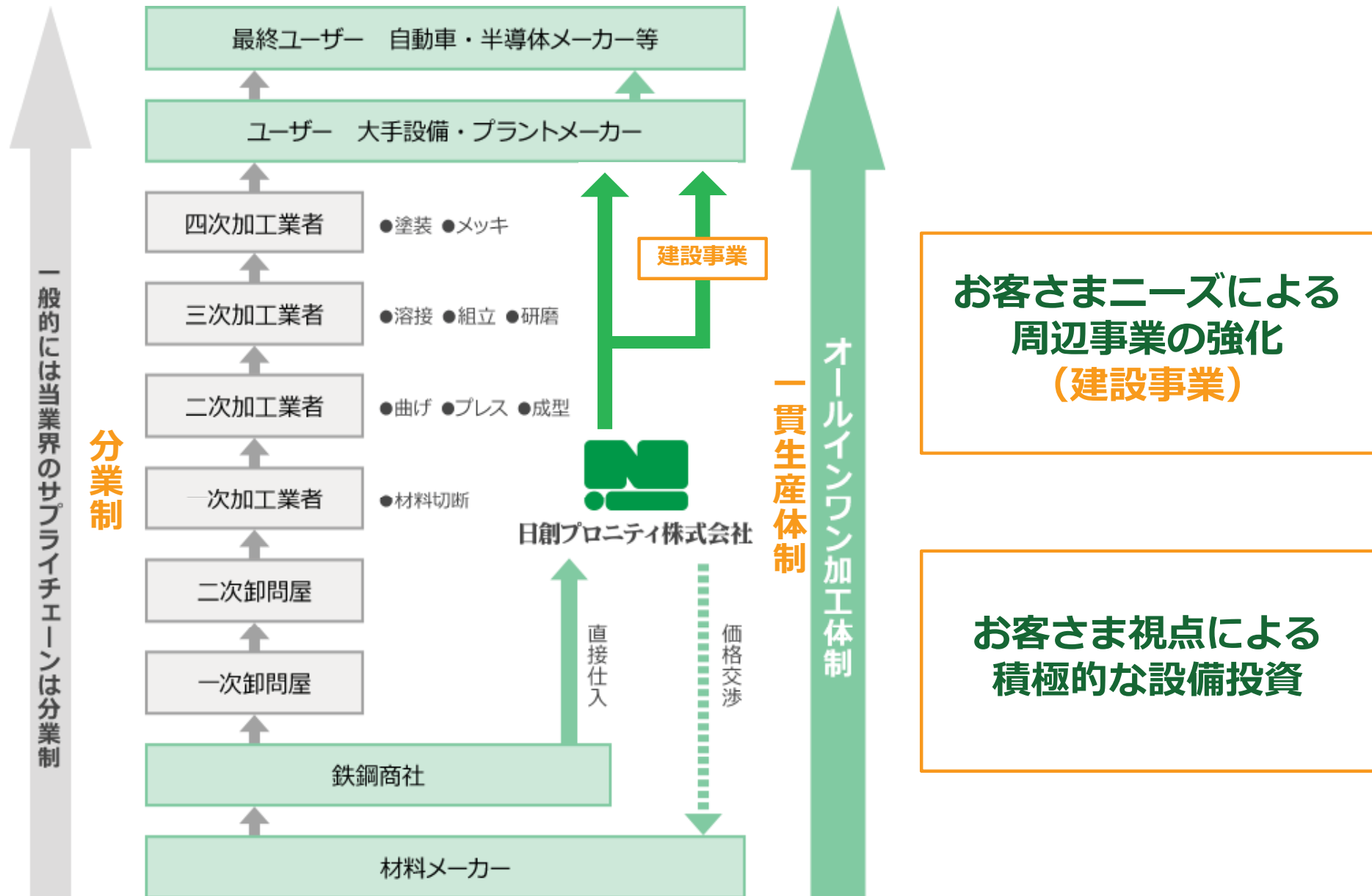


# 日創プロニティグループの拠点

## 積極的な全国展開



# 日創プロニティグループの強み



# 金属加工事業

建築・建材、環境・エネルギー、工場・プラント、駐車場、仮設・プレハブ、半導体、農業、畜産、車輛部品等広範囲な業界に向けて各種金属加工製品を提供。

## オーダー加工品 = ユーザーからの多様な個別仕様のオーダーに基づく製品

「オールインワン加工体制」の持つメリットを最大限に活用し、顧客のニーズに対応。主要製品としては、太陽電池アレイ支持架台、太陽光発電システム搭載型カーポート（ソーラーネオポート）、耐火パネル、不燃断熱パネル等の各種金属パネル。



①太陽電池アレイ支持架台



②太陽光発電搭載型カーポート



③レジストウォール（耐火パネル）

## 企画品 = 一定の規格に基づく 量産可能品

ユーザーに対して提案商品として企画した製品。主要な製品としては、波板・折板等屋根材、壁材等建築用内外装材、各種金属スレートやデッキプレート等。



⑤金属屋根材



④金属壁材



## 山田工場

### 企画品

特徴 = 提案商品として企画した製品

敷地面積：35,000m<sup>2</sup>

プレス・ロールフォーミング・  
切断・曲げ・切削・組立・溶接

### オーダー加工品

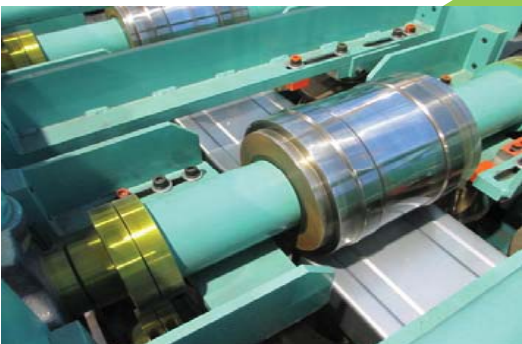
特徴 = 多品種なものを  
オーダーにより加工

#### 第1工場



プレスによる企画品の生産

#### 第2工場



ロールフォーミングによる  
企画品の生産



#### 第3工場



切断・パンチング・  
曲げ・パネル加工など  
オーダー加工による  
特注品の生産

#### 第5工場



切削・組立・溶接など

#### 第4工場



切断・不燃断熱パネルの生産

## 福島工場

2014年より**東日本**のものづくりを支える

敷地面積：41,418㎡



### 生産設備

- ◆太陽電池アレイ支持架台成型ライン ◆耐火パネルライン
- ◆シャーリングマシン ◆タレットパンチマシン ◆プレスブレーキマシン
- ◆レベラーシャーマシン ◆各種成型機

### 最新鋭マシン（ロータリーインデックス搭載レーザー加工機）を導入

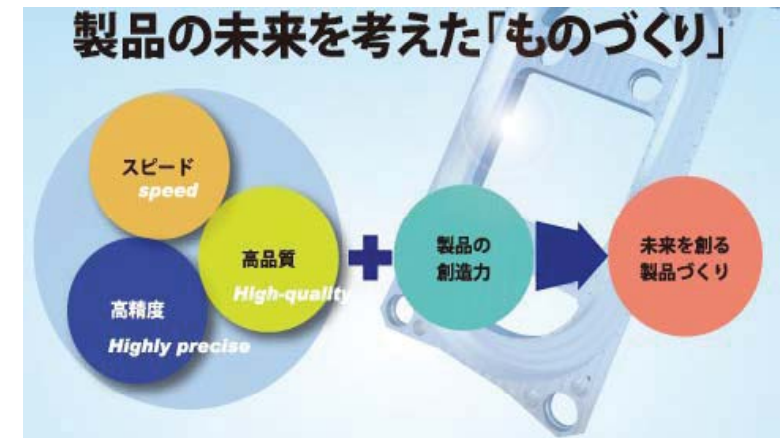
型鋼・パイプの高速かつ高精度加工を可能とするロータリーインデックス装置を搭載し、型鋼・パイプの兼用稼働が実現。加工領域の拡大に向けた、新しいオールラウンドマシンです。





## 綾目精機株式会社（2017年4月子会社化） 金属精密切削加工業

産業用機械の部品（大型印刷機・医療機器・航空機等の部品）から農業用機械の部品まで、幅広い分野の多様な受注に対応。素材の調達、切削、焼入れ、メッキ、組立てまで一貫した加工を実現。

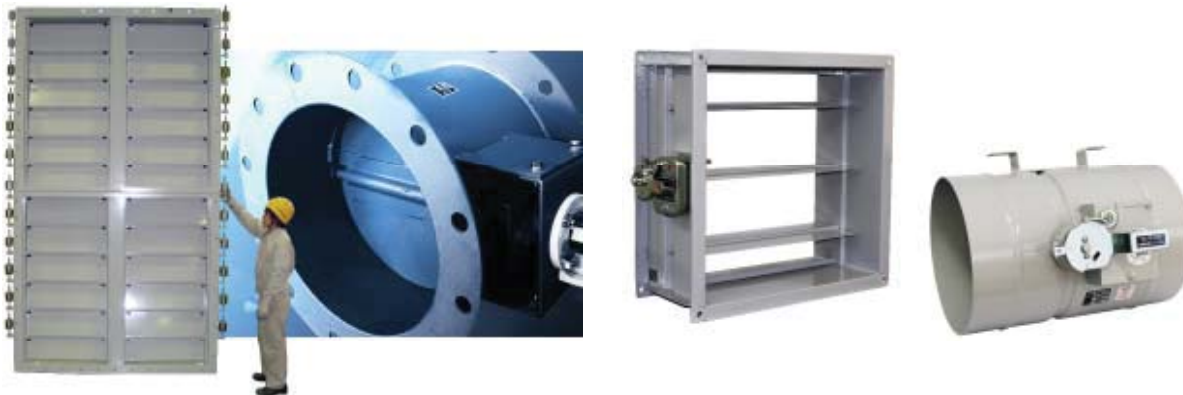


本 社 : 広島県府中市  
代 表 者 : 代表取締役社長  
石田 徹  
設 立 : 1988年4月  
資 本 金 : 10,000千円  
決 算 期 : 7月31日

## 株式会社ダイリツ（2018年3月子会社化） 空調関連機器製造業

自動制御・防火・防煙等の各種空調用ダンパーをメインに、制御機器、制気口、フード等の製品を展開。

各種プラント・発電所・トンネル等々、多様な用途に対応するオーダーメイドの特殊製品の製造に注力し、業績も堅調に推移。



風量調節ダンパー、防火ダンパーなど高精度なオリジナルダンパー



本 社 : 愛知県名古屋市  
代 表 者 : 代表取締役社長  
石田 徹  
設 立 : 1961年5月  
資 本 金 : 50,000千円  
決 算 期 : 6月30日



カチオン電着塗装ライン

## 吾孺ゴム工業株式会社（2016年3月子会社化）

原料ゴムからの一貫生産を行うゴムメーカーとして、土木製品、一般工業製品、建築製品、車輛用品、道路用品を製造。

ゴムの加工技術やノウハウに裏付けされた豊富な販売実績を有し、堅調に業績が推移。

本社・工場	:	群馬県藤岡市
営業拠点	:	東京営業所
代表者	:	代表取締役社長 石田 徹
設立	:	1982年7月
資本金	:	20,000千円
決算期	:	6月30日

### 自社製品 1995年 阪神淡路大震災後に開発



エキスパンションシール  
(駅のホーム)



パイプ継手 エルボ  
(重機メーカー向け)

## 強み

- 景気に左右されない事業基盤・安定した**収益力**



## 日創エンジニアリング株式会社（2016年4月設立）

当社が「太陽電池アレイ支持架台」や「耐火パネル」を供給し、日創エンジニアリングが設置工事を行うことにより「材工一括受注」体制を構築。



太陽電池アレイ支持架台（設計、調達、設置工事、電気工事）



耐火/不燃断熱パネル（設計、調達、設置工事、内装仕上げ）

本 社 : 東京都台東区  
代 表 者 : 代表取締役社長  
          : 大里 和生  
設 立 : 2016年4月  
資 本 金 : 20,000千円  
決 算 期 : 8月31日

### 強み

- 金属加工事業との材工一括受注体制による営業提案力の向上

# お問い合わせ先・ご注意事項

お問い合わせ  
先

日創プロニティ株式会社 経営企画室  
TEL: 092-552-3749  
<https://www.kakou-nisso.co.jp/>  
[ir@kakou-nisso.co.jp](mailto:ir@kakou-nisso.co.jp)

## <ご注意事項>

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。